学ぶ力と意欲を備え、ともに高め合う教育の創造

学校だより

自立・敬愛・創造

通用口横アンネのバラ

令和元．６．１１
朝来市立和田山中学校

水無月　盛夏へ暑さと熱さ増す　和田山中

５月の後半は盛夏のような真夏日が続き、熱中症への対策が必要になりましたし、思わぬゲリラ豪雨や落雷が心配されるようにもなりました。そのような時、周りにそれを注意する大人がいない場合は、生徒自身どのような行動をとれば良いか自己判断ができるようにしてもらいたいと思います。

２・３年生の大きな行事が無事に終了しました。子供たちは、行事を通して、責任感や達成感などを得て大きく成長したことでしょう。その成長が大人への階段であり、校訓の一つ「自立」していく手立ての一つです。一人でも頑張れたことやできたこと、みんなと協力し話し合いや助け合いながら頑張れたことやできたことは、必ず自分自身の宝となります。このことを自信に持ち、さらに充実した生活をして欲しいです。**活動の様子は、次回の学校だよりに掲載予定**

5/24 全校集会校長講話より

朝の登校風景

朝に生徒玄関にいますと、明るく元気なあいさつを皆さんがしてくれて、１日の始まりをすがすがしく迎えることができ、元気をもらえています。
この「あいさつ」というのは、お互いの心を開くのに、とても大切なものです。そして、「あいさつ」は校訓の「敬愛」であるお互いの命や人格を敬うことにつながります。「あいさつ」でお互い相手を思いやり、お互いを大切にする心を育んでいきましょう。

5/22　生徒避難訓練

快晴のなか、地震を想定した本年度最初の避難訓練を実施しました。この訓練の一番のねらいは、非常時に命を守るという行動ができるようにすることです。生命の安全は災害だけでなく、いつ、いかなる時も、全てにおいて優先します。今回の訓練では、シェイクアウト訓練（机の下に入って窓ガラス等の破片から頭を守る）と、その後の移動では「お・は・し・も」の行動で素早く生徒全員が避難することができました。その時間は全員の点呼終了確認で３分２７秒でした。非常に良かったと思います。このような学習を通して、学校だけでなく家庭や地域でも実践し、中学生が率先して災害に備えていく意識を持ってほしいと思います。そうすれば、家庭や地域でも、そして生徒たちが大人になり、自分の家庭や家族を守るときにきっと役に立つと思います。

和を以て貴しと為す

5/22 トライやるマナー講座

イオンの人事部より来て頂き、挨拶や言葉について学びました。生徒も積極的に手を上げて発表したり、実技練習したりしていました。トライやる・ウィークでもしっかりとできたと思います。

5/27~6/14 教育実習

・本年度は、２名の本校の先輩が教育実習に来ています。２名とも、中学時代からスポーツを頑張っており、教員を目指す目的をしっかりと持っています。若さあふれる爽やかで明るい２名です。将来、先生として教壇に立つ日に向けて頑張ってください。

・６月３日より学びのサポーターとして、中川理菜先生が着任しました。１年生を担当してもらっていますので、どうぞよろしくお願いします。

5/28 職員クリーン作戦

中間テストの初日に、校外に出て通学路や川沿いの清掃を行いました。職員も地域でのこのようなボランティア活動を積極的に行って、地域と共にある学校を目指したいと思います。

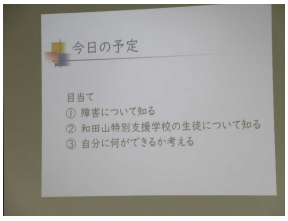
校章モニュメントの花

地域の方より、いつもモニュメントの周りに花を植えて頂いております。今はルピナスという紫やピンク色の花が咲いています。どうぞご鑑賞ください。

いつも花をお世話頂き、
ありがとうございます。

5/31 1年福祉講話より

１年生では、今年度の福祉教育の一つとして、和田山特別支援学校より講師の方に来て頂き、障害のある方への理解などお話を聞きました。これから交流などを通して、さらに理解を深めていきます。



子育てハッピーアドバイスより(明橋大二)

保護者の皆さんからの相談の中に、思春期の子供の扱い方へのお悩み相談があります。

子どもの心は「依存(甘え)」と「自立(反抗)」を繰り返しながら大きくなります。その幅が大きくなるのが思春期です。様々な角度から、子供の状態を捉え、的確なアドバイスをすることによって、子どもは大きく成長します。その逆の対応をしてしまうと大きく崩れてしまうこともあります。過保護、過干渉を避け子供たちの心に届く言葉がけを私たち大人は心がけたいものです。